

■花いっぱい運動の実施

6月9日(土)に村商工会女性部の恒例事業である、花いっぱい運動を実施し、村商工会女性部員8人が参加しました。

当日は村商工会白水本所に集合して花植えを行い、役場庁舎や陽の丘荘など5カ所に贈呈しました。役場前の玄関前には、女性部の贈呈した花が並び、とても明るい雰囲気になりました。

■クリーンキャンペーン3年ぶりの開催

商工会では毎年6月10日の「商工会の日」に「クリーンキャンペーン」を実施しています。昨年、一昨年は熊本地震の影響により実施ができず、今年は3年ぶりの実施となりました。

当日は午前6時半より、約57人の参加者が、白水、長陽、久木野の3地区に分かれ、主要道路の空き・空瓶・たばこの吸殻など分別をしながら、軽トラック3台分のゴミを回収しました。

日頃何気なく通っている道でも、たくさんのごみが落ちており、県内外からの観光客をお出迎える

という意味でも、清掃美化活動の意義・重要性を再確認させられました。参加された皆さまのご協力に、心より感謝申し上げます。



南阿蘇
消費者
相談室から
Vol.63

警察官、金融機関を装う振り込め詐欺にも、ご注意ください！

●相談事例

「警察署の生活安全対策課です。あなたの個人情報が出ています。熊本県内の80代の女性の方に、警察署を名乗る男から電話がありました。男は「この後、金融庁から電話がある」と続け、数分後に再び、電話が鳴りました。

さっきの男とは別の声が「金融庁です。あなたの口座からお金が不正に引き出されています」と話し、被害の拡大防止のため、女性のすべての口座と暗証番号を聞いてきました。そして、「被害金額は国が救済する」「これから職員を向かわせる」「証拠品として古いカードを提出して」などと矢継ぎ早に指示して電話を切りました。

すると、時間をおかずに、玄関の呼び鈴が鳴り、金融庁職員を名乗る男が立っていたというわけです。女性は、冷静に考える暇もなく、言われるがままに複数のキャッシュ

カードを手渡してしまいました。夕方、訪ねてきた地域包括支援センターの職員に相談して、詐欺に気が付きましたが、すでに複数の口座から200万円以上が引き出されていました。最初の電話が鳴ってカードを手渡すまで、わずか1時間足らずの犯行でした。考えたり相談したりする時間を与えないのが特徴です。

熊本県警によると、昨年1年間のオレオレ詐欺被害計40件のうち、11件が同様の手口で、被害金額は約1200万円にのぼります。警察官のほか、公務員、百貨店や家電量販店の店員、金融機関の職員を名乗るケースも多いです。

たとえ電話口で公的機関の名前を名乗ってきたとしても、安易に信用せず、身近な人や、南阿蘇消費者相談室にご相談ください。まず、電話口で、いきなりお金の話が出たら、すぐに詐欺を疑うことが大切です。

【お問い合わせ】
 南阿蘇消費者相談室
 TEL (67) 2244
 相談日 火曜・木曜日
 午前10時～午後3時
 旧久木野庁舎
 ※巡回相談日を除く